

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

成果が出るまで待つこと、待つことは人材育成の手段と割り切る

井上礼之（ダイキン工業会長兼グローバル代表執行役員）

1. ダイキンには「野人」が多い。「野人」とは、野性味にあふれていて一匹おおかみで、上司の言うことを聞かずにやりたいことをやっている社員です。ダイキンには性善説に基づいて「出る杭は認める」文化があります。ほめることはあっても罰は少ない。だから、好き勝手にやる社員は多いし、やってるやつが育つ。ダイキンに入社したら、人は丸くならないのです。
2. 自主性を尊重し、社員にはどんどん修羅場を与えて挑戦させていきます。だから、自ら考える習慣もつく。チャンスや修羅場はどんどん与え続けなければいけません。それが途切れると、意欲はガタッと落ちてしまう。重要なのは(成果が出るまで)待つことです。チャンスを与えても多くは期限までに成果が上がらない。だから、待つことは人材育成のための手段と割り切らないといかんでしょう。
3. しかし、待つのはとても難しい。役員の間で唯一、足並みがそろわないのは「(成長を)待つ」ことです。何やぼやぼやとしてるんやと、つい急いでしまうわけです。それも時には必要。ただ人材育成は集合教育ではできず、具体的な仕事を与える職場内訓練(OJT)でこそできるものです。不思議なことに、待つことで人は大化けすることがあります。

(参考:「日経ビジネス」2024年3月18日号)

経営者のための経済学

日本企業の実力で株価は上がっていない

ジム・ロジャーズ（世界三大投資家の一人）

1. 日本銀行が膨大なお金を持っていて、株を買いまくったから株価が上がっているのです。それは投資家にとっては良いのですが、日本にとっては良くありません。さらに言うと、日銀はお金を刷りまくっていますよね。そのお金が株式市場に流れ込んでいます。それは株高のセオリーの一つですが、それよりも主な要因は、日銀が株を買いまくっていることです。
2. 日本は人口減少という深刻な問題を抱えています。国の借金も長い間、天井知らずに膨れ上がっています。成長期待の高いキーワードが出現して、中央銀行が関連の株を大量に買う。こうなると株価が上がるので投資家にとっては大もうけするチャンスです。でも、国にとっては借金が増えるだけ。良いことではありません。日本企業の実力で株価が上っているわけでもありません。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2024年3月16日号)

経営者のための危機管理

「現場が見えていますか」

1. タウンホールミーティングとは、トップ(や経営陣)が現場の社員と直接対話する場だ。多くの企業が似たようなことを行っている。「現場が見えていますか」と質問すると、「タウンホールミーティングをやっている(から大丈夫)」と胸を張って答えるトップは少なくない、というか多い。だが、トップのこうした認識こそが危ういと感じている。
2. というのも、一般に対話の時間はそれほど長くはない。対して、参加する社員は十数人から数十人、一人ひとりから丁寧に話を聴ける状況ではない。事務方が事前に質問を割り振ることもあるし、時間の大半はトップが一方向的に話すことも珍しくない。社員に「自由に意見を述べよ」と言って、本当のことを話すと思っているのだろうか。悪い話はまず上がってこないとトップは考えるべきだ。

(参考:「週刊東洋経済」2024年3月2日号)

古典に学ぶ

自分より相手を優先する

1. そんな菩薩の心は、「慈悲を根本とて、人のためにできることは何かを、自分のことより先に考える心である」と空海はいいます。菩薩とは何かというと、人々の苦しみを抜き、楽を与えることです。
2. 仏教では、これを「抜苦与楽」と呼びますが、簡単にいうなら「放っておけない」という姿勢だといいでしょう。そこには、自分より相手を優先する「利他」の心があります。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)